

## 目次

- 1. 日水清心丸と北京同仁堂 ————— P1
- 2. 日水清心丸とは ————— P2
- 3. 日水清心丸のこだわり
  - (1)「特徴ある生薬群」 ————— P3~4
  - (2)「自社栽培地の確保」 ————— P5
  - (3)「薬草の個性を生かす栽培:甘草」 ————— P6
  - (4)「薬草の個性を生かす栽培:人參」 ————— P7~8
  - (5)「薬草の個性を生かす栽培:芍薬」 ————— P9~10
  - (6)「最新鋭設備での製造」 ————— P11~12
  - (7)「日本の品質基準に合致した日水清心丸」 ————— P13
  - (8)「専門性の高い販売組織」 ————— P14

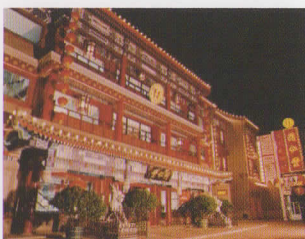
## 1. 日水清心丸と北京同仁堂

### 宮廷に薬を納める専属薬房“北京同仁堂”

1669年に創業した薬房“北京同仁堂”は、卓越した製造技術や確かな品質管理が皇帝の目に留まり、1723年、宮廷専属薬房に昇進しました。以後、8代の皇帝に仕え、今日に至るまで牛黄清心丸をはじめ、優れた伝統中成薬(漢方薬)を継承しています。

現在の北京同仁堂は、近代的な設備と、伝統を継承し高い品質で有名な、中国最大の中成薬国有企業に成長しています。同社の研究施設の「中薬複方新薬開発国家工程研究センター」では、様々な生薬を抽出した新薬の研究開発に取り組んでいます。

日水清心丸は、歴史と伝統、近代的な設備を整えた“北京同仁堂”で製造されています。



北京同仁堂薬店



中薬複方新薬開発国家工程研究センター

## 2. 日水清心丸とは

### 悠久の歴史が研いた秘方

東漢時代の専門医書「<sup>キンキヨウリヤク</sup>金匱要略」(東洋医学の古典の一つ)にある養生目的の処方「<sup>ショヨ</sup>薯蕷丸」に遡り、時代が進むと改良が加えられ「牛黄清心丸」という処方になりました。

中国の清時代、侍医(宮廷の医者)らは高貴薬として重宝されていた「牛黄清心丸」を改良し、それはやがて宮廷専用の薬となっていきました。

その後、牛黄清心丸は多くの人に知られ、今日においても大変貴重な薬として愛用されています。

### 日本人のための清心丸

日本では、牛黄清心丸の処方をもとに、日本人に合わせた清心丸を開発し、「山王清心丸」として厚生労働省の承認を得て1978年に発売しました。

その後も、日本人の生活習慣などの変化に合わせ、研究・処方の改良を行い、1993年に「日水清心丸」として発売、現在まで多くのお客様からご愛顧いただいております。

